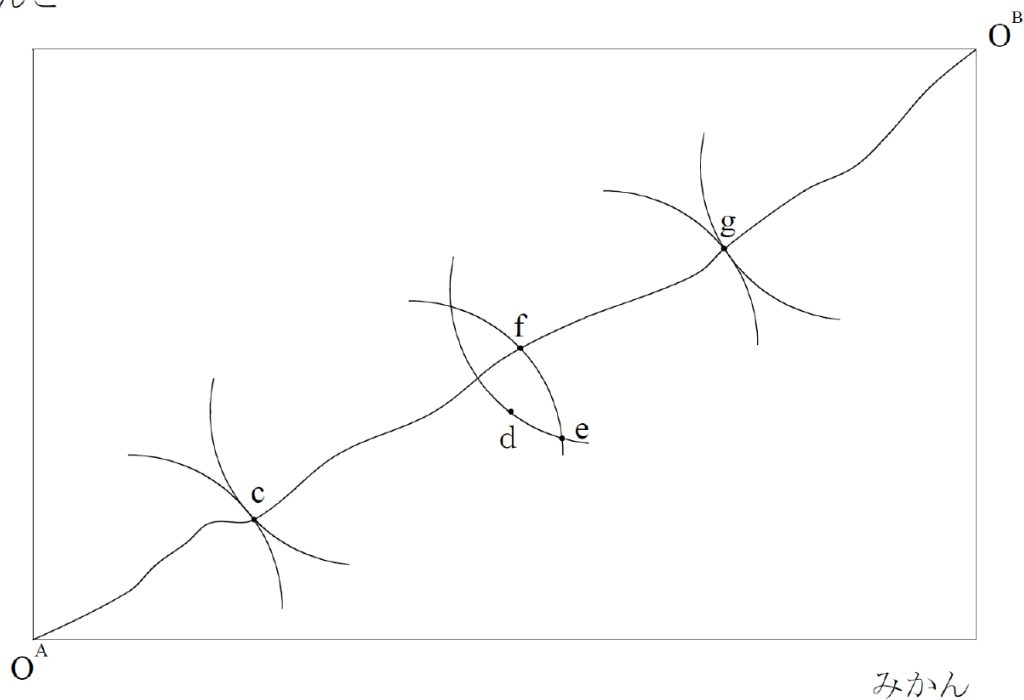


I. 下の図は、りんごとみかんについてエッジワースのボックス図を描いたものだ。この図ではAさんの原点は、OA で B さんの原点は OB で示されている。OAOB は、A さんと B さんの無差別曲線の接点の軌跡である契約曲線である。以下の文章を読み、それぞれ正しいか否かを判断し、解答欄に正しいときは○、間違っているときは×を記入しなさい。

りんご



- (1) 契約曲線上のすべての点はパレート改善を満たしている。
- (2) g 点から f 点への移動はパレート改善となる。
- (3) g 点から f 点への移動はパレート最適を満たしている。
- (4) d 点から e 点への移動はパレート改善となる。
- (5) e 点から d 点への移動はパレート改善となる。
- (6) e 点から f 点への移動はパレート改善となる。
- (7) 契約曲線上のすべての点はパレート最適を満たさない。
- (8) d 点から c 点への移動はパレート改善となる。
- (9) c 点から e 点への移動はパレート改善となる。
- (10) c 点と f 点はパレート最適を満たしているが e 点はパレート最適を満たしていない。

Ⅱ. 以下の設問について適切な選択肢をひとつだけ選び、解答欄に記号を記入しなさい。

(1) 純粋公共財に関する記述として妥当なものはどれか。

- あ. 純粋公共財は、消費における排除性と非競合性のいずれかを満たす財である。
- い. 純粋公共財は、消費における非排除性と競合性のいずれかを満たす財である。
- う. 純粋公共財は、消費における非競合性と非排除性のいずれかの性質を満たす財である。
- え. 純粋公共財は、消費における非競合性と非排除性の双方を満たす財である。
- お. 純粋公共財は、消費における競合性と非排除性の双方を満たす財である。

(2) 市場の失敗に関する次の記述のうち、妥当なものはどれか。

- あ. 市場の失敗は民間部門で解決可能であり、政府の介入は全く必要ない。
- い. 市場の失敗の原因としては、独占の存在のみが挙げられる。
- う. 市場の失敗の原因としては、外部性というある財を消費したことによる利益が本人だけに生じることが挙げられる。
- え. 不完全市場は、情報の非対称性によって生じる。
- お. 消費の非競合性と消費からの非排除性という性質を持つ財・サービスを公共財といい、このような財・サービスは市場メカニズムによって最適に供給されない。

(3) 以下の中から純粋公共財を選択しなさい。

- あ. 国防 い. 映画館 う. 高速道路 え. 衛星放送

(4) 以下の中から正しい記号を選択しなさい。

- あ. 公共部門の目的は、社会的厚生を最大化することではなく、利潤を最大化することである。
- い. 政府が公共財供給に際して、各個人に公共財に対する需要を表明させて、その需要に応じて費用負担を求めるというリンダール均衡のもとではパレート改善が達成される。
- う. 政府が公共財供給の費用負担を各個人に均等に割り当てれば、パレート最適が達成される。
- え. 公共財供給においてパレート最適を満たすような公共財供給の条件は、サミュエルソン・ルールと呼ばれている。この条件は、各個人の限界代替率と限界変形率が等しくなるというものだ。
- お. 公共財供給においてパレート最適を満たすような公共財供給の条件は、サミュエルソン・ルールと呼ばれている。この条件は、各個人の限界代替率の和が限界変形率に等しいというものだ。

Ⅲ. ある地域で独占的に電力を供給している企業を考えよう。この企業の直面する需要曲線は、 $P = 103 - Q$ であり、費用関数が $TC = 2000 + 3Q$ であるとしよう。 p は価格、 Q は数量である。(2)～(8)については、計算過程を明示しない場合、採点対象としない。)

- (1) 固定費用を求めなさい。
- (2) 限界費用を求めなさい。
- (3) 総収入曲線の式を求めなさい。
- (4) 限界収入曲線の式を求めなさい。
- (5) この独占企業が利潤を最大化する場合の最適な生産量を求めなさい。
- (6) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、この企業の実産量はいくらになるかを求めなさい。
- (7) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、設定する価格を求めなさい。
- (8) 政府が限界費用価格形成原理にもとづき価格を規制する場合に、この企業に生じる利潤額を求めなさい。

解答欄

I. (各 4 点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	×	×	×	○	○	×	×	×	○

II. (各 5 点)

(1)	(2)	(3)	(4)
え	お	あ	お

III. (各 5 点)

(1)	2000	
	計算過程	答
(2)	$d(TC)/dQ = 3$	3
(3)	$TR = P \times Q = (103 - Q) \times Q$	$103Q - Q^2$
(4)	$d(TR)/dQ = 103 - 2Q$	$103 - 2Q$
(5)	MR = MC より $103 - 2Q = 3$ $Q = 50$	50
(6)	P=MC より $103 - Q = 3$ $Q=100$	100
(7)	$P = 103 - Q = 103 - 100 = 3$	3
(8)	$\begin{aligned} \text{利潤} &= TR - TC = (103Q - Q^2) - (2000 + 3Q) \\ &= 300 - 2300 \\ &= -2000 \end{aligned}$	- 2000